

茨高 m a p

伝統息づく 茨高マップ

平成9年に建てられた現在の校舎のイメージは

光・風・緑

斬新なデザインながらも、校庭の隅々からは伝統の息吹が感じられます。このマップを片手に散策してみませんか？



イチヨウ

旧校舎時代より今の場所で見守る木



石のベンチ

旧校舎の敷石を切り出し「会う」をテーマに49期生がデザインした卒業記念品



会ベンチ

創立時の府立第四尋常中学校の『四』をデザイン化した校章が『会』に似ており、校章を模して作られたベンチは『会(パイ)ベンチ』と呼ばれ親しまれている。56期生の卒業記念品



勤俟力行

初代校長が定めた校訓「勤俟力行」(生活を質素にして日々努力し自分を磨くこと)は、現在まで確実に引き継がれ、校風である「質実剛健」とともに茨高教育方針の柱



以文会友

「文を以て友を会す」とは「学問を通しての交友」を意味する『論語』の中の言葉。大正6年卒業生である川端康成がノーベル文学賞を受賞した折、学校側の依頼を受け揮毫して完成したもの

体育館の角

開校100周年(平成7年)を機に建てられた体育館は民話「茨木童子」の角をモチーフにした採光のための突起がついている



ケヤキ

通り廊下に円形の空間を取った斬新なデザイン。生徒とともに成長してきた



BC間

茨高生の聖地。後夜祭(体育祭の後)では、上位3チームだけが、再度演技することを許される空間



傳さんの松(クロマツ)

旧プール横から平成9年に移植された杉本傳(すぎもとつたえ)先生ゆかりの松



プール

校舎改築に伴い屋内50メートルプールが誕生。なみはや国体では、水球競技の会場にもなった



栄光の歴史あるプール

大正5年に生徒達(川端康成や大宅壮一もこの中にいた)が手作業で造った水泳場が起源。同8年には長さ50メートルの学校プールとなる(日本初)。杉本傳(傳)体育教諭は当時先進的であったクロールを指導、『水泳ニッポン』の興隆を担う選手を多数育成した。昭和初期のオリンピックメダリストたちはここから輩出されたのである



合格発表

最初の感動はいつもここから



正門

